

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第 I 項 生活科学部 人間生活 学科

出身高校名 山城高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

将来、住居に携わる仕事がしたいと考えており、同志社女子大学には私の理想とする学びがあったからです。住居に関わることだけを学べる場所はあるが、福祉や心理、衣・食に関しても広く学ぶことができるので、自分の視野を広げられると思い、志望しました。また、少人数教育の中で、グループ活動や多彩な実習を通して、得られるものはとても大きいのではないかと感じたからです。また、オープンキャンパスに何度も参加していきうちに、学校全体の雰囲気にも魅力を感じたからです。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は人と話すことや文章を書くことが好きで、高校では、生徒会活動をしていて人前で緊張せずに話すことには自信がありました。しかし、一般入試ではそういった自分の得意なことを生かせる機会はないので、作文と面接で試験が行われるAO方式入学者選抜を受けようと思ったからです。一般入試に向けた勉強との両立を考えると、少し悩みましたが、自分の好きなこと、得意なことを生かして受験ができるなら、挑戦してみようと思いはないし、むしろ自分の力にもなると思ったからです。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は、資格面ではアピールできることはなかったのですが、高校に入学してからずっと続けていた生徒会活動のことをアピールしました。また、第I項での受験だったので、主に教会活動についてアピールしました。幼い頃からの長い教会生活のこと、受洗のこと、中学生・高校生になってから参加した、聖書のことを学ぶ修養会のこと、宗教改革500周年のイベントに参加したことなど、挙げられる活動全てと、そこから自分が感じたこと、得られたことも含めてアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

書類の作成では、自分のアピールできる活動は書ける限りたくさん書きました。また、書く上で活動したことばかり書き並べても意味がないので、それらの活動から得られたことを中心に書くように心がけました。同じ言葉や表現のくり返しになってしまっている所はないか、何度も推敲をしました。自分の一番伝えたいことが伝わるような文章構成になるように工夫しました。今後の自分がどうしていきたいか、活動してきたことをどう生かしていくかも含めて書けるようにしました。

〔面接〕

複数の受験生の中から、自分のことを選んで頂くには、やはり第一印象というのとはとても大きいと私は考えています。だから、まずは礼儀とは、丁寧に話すことは心がけていました。どんなに良いことを話しても、声が小さかったり自信なさげだと100%の思いは伝わらないからです。そしてもう一つ、笑顔で話すことです。緊張感はもちろん必要ですが、過度な緊張で固い表情になってしまうのは逆効果です。笑顔も心がけているうちに、だんだんいつもの通りの自分で話せると思います。自分の話す内容に自信を持ち、必ず質問に対して無言にならないようにしました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

文章を書くこと、話すことに自信のある人、また好きな人は、ぜひ挑戦してみるべきだと私は思います。アピールする内容を考えているうちに、自分のことも大学のこともより深く知ることができ、より一層自分のことを好きになれたり、入学したい気持ちが大きくなります。一般入試に向けた勉強との両立は正直大変です。しかし、文章を書くのは1度に1つの文章を書ききらなくても、こういう事を書きたいという表現を思いついたその時々、ノートに書いていき、それらを繋げて文章を作り上げるといい文章が書けると思います。私は手帳のメモ欄がたくさんあったので、そこを専用ノートにして持ち歩いて書いていました。良ければ参考にしてみてください。合格をお祈りしています。